



日本赤十字社熊本健康管理センター

概 要

当センターは、日本赤十字社の医療施設の中で、予防医療を専門に取り組む唯一の独立した施設です。

昭和 53 年の設立以来、基本理念である“Health for All, All for Health”～すべての人に健康を、健康に全力を～”を旗印に、常に最新の医療機器と専門スタッフを揃え、人間ドックをはじめとする生活習慣病健診やがん検診などの健康管理事業のほか、生活習慣病予防のための啓発や健康増進を目的とする健康支援事業、さらには外来診療事業に全力で取り組んできました。

予防医療を取り巻く環境は、昨今の社会情勢から厳しい潮流が続いておりますが、いつの時代も、誰もが健康でありたいという想いは不変です。

当センターがこれまで培った知識と技術を今後の業務に活かしながら、皆さまに「また受診したい」と思っていただけるよう、さらに質の高い予防医療サービスの提供に尽力して参ります。

基本理念

“Health for All, All for Health”

～すべての人に健康を、健康に全力を～

基本方針

一次・二次・三次予防の包括的な健康支援

生涯を通じた健康支援

受診者第一主義の健康支援

新たな予防医学システムの構築

教育研修機関としての使命と役割



組 織

■ 日本赤十字社熊本健康管理センター

- ・住所 〒861-8528 熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
- ・設立 昭和53年4月1日
- ・施設長 所長 吉田 稔
- ・会計 令和4年度 決算額 3,474,125 千円
- ・沿革
 - 昭和47年 前身となる財団法人熊本県健康管理協会発足
 - 昭和53年 日本赤十字社熊本県支部診療所健康管理センター設立
業務を引継ぎ実施する
 - 平成5年 日本赤十字社熊本健康管理センターに改称
 - 平成9年 新館建設に伴い人間ドックコースの充実を図る
 - 平成17年 がん検診のためのPET-CT診断センター業務開始
～平成29年3月末をもって業務終了

- ・ホームページ <https://www.kenkan.gr.jp>



■ 職員数 合計 375 (令和5年4月現在)

職	常勤・嘱託	臨時・パート	計 (人)
医 師	12	12	24
診療放射線技師	21	1	22
臨床検査技師	63	3	66
管理栄養士	10	5	15
歯科衛生士	2	0	2
保健師	40	6	46
看護師	31	14	45
一般職(事務)	89	19	108
運動指導士	5	0	5
技術員・運転・ 調理・助手	17	24	41
マッサージ師	1	0	1
合 計	291	84	375



熊本健康管理センター

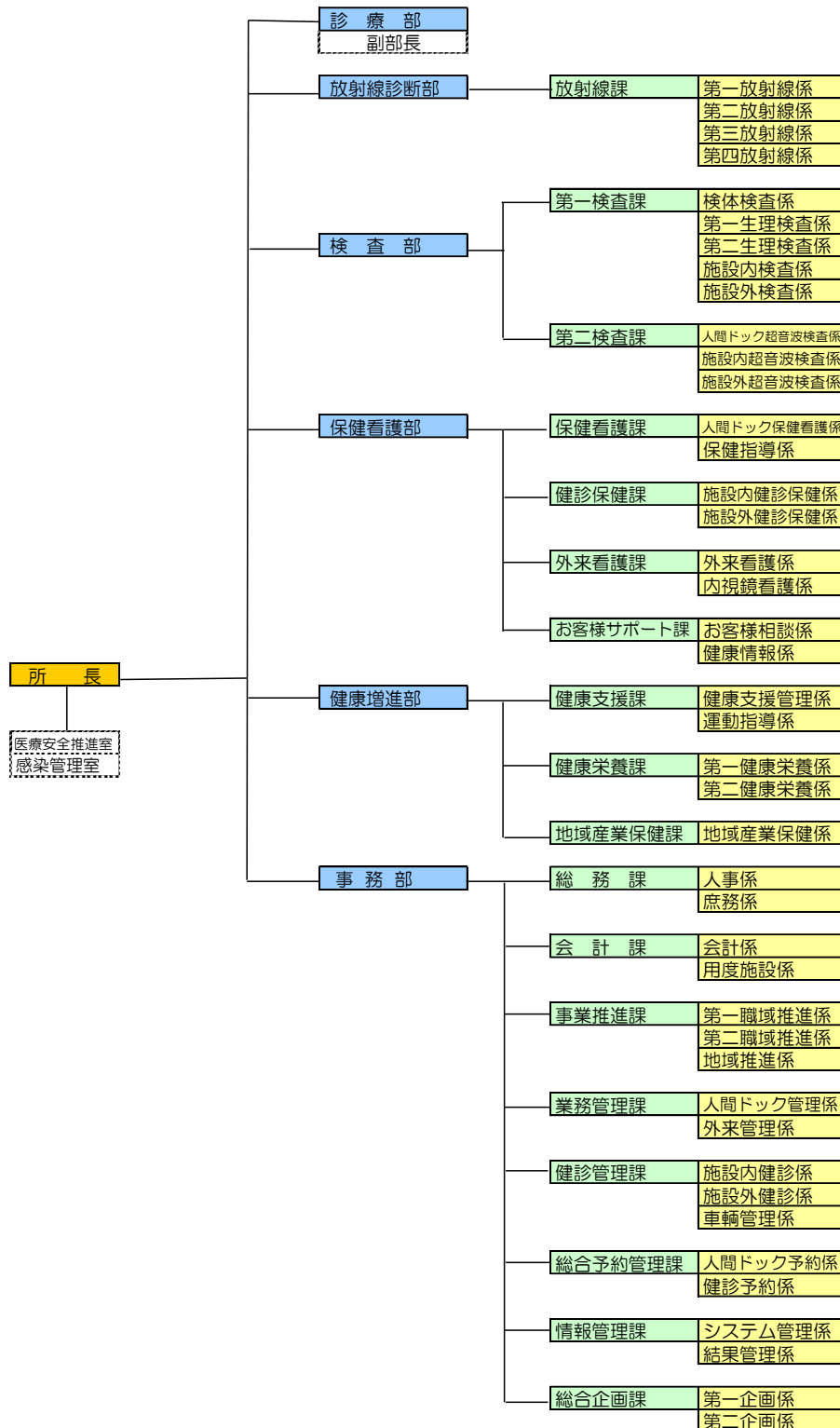
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

“Health for All, All for Health”
すべての人に健康を、健康に全力を

■ 組織図

令和5年4月1日現在

6部18課43係





熊本健康管理センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

“Health for All, All for Health”
すべての人に健康を、健康に全力を

■ 資格・認定 (令和5年4月現在) ・医師

資格・認定	人数	資格・認定	人数
社会医学系指導医・専門医 【社会医学系専門医協会】	2	脳神経外科専門医【日本脳神経外科学会】	1
日本産業衛生学会指導医【日本産業衛生学会】	2	産婦人科専門医【日本産科婦人科学会】	2
労働衛生コンサルタント(保健衛生)【厚生労働省】	2	婦人科腫瘍専門医【日本婦人科腫瘍学会】	1
認定産業医【日本医師会】	9	細胞診専門医【日本臨床細胞学会】	1
人間ドック健診指導医【日本人間ドック学会】	3	血液専門医【日本血液学会】	1
人間ドック健診専門医【日本人間ドック学会】	4	超音波指導医・専門医【日本超音波医学会】	1
人間ドック認定医【日本人間ドック学会】	7	プライマリ・ケア認定医 【日本プライマリ・ケア連合学会】	1
人間ドック健診情報管理指導士 【日本人間ドック学会】	1	検診マンモグラフィ読影医師 【日本乳がん検診精度管理中央機構】	4
遺伝学的検査アドバイザー【日本人間ドック学会】	2	乳がん検診超音波検査実施判定医師 【日本乳がん検診精度管理中央機構】	1
総合内科専門医【日本内科学会】	4	乳腺認定医【日本乳癌学会】	1
認定内科医【日本内科学会】	10	乳房疾患認定医【日本産婦人科乳腺医学会】	1
循環器専門医【日本循環器学会】	1	がん治療認定医【日本がん治療認定医機構】	2
消化器病専門医【日本消化器病学会】	3	がん薬物療法専門医 日本臨床腫瘍学会	1
消化器内視鏡指導医【日本消化器内視鏡学会】	4	日本アレルギー学会指導医(内科) 【日本アレルギー学会】	1
消化器内視鏡【日本消化器内視鏡学会】	4	抗菌化学療法指導医【日本化学療法学会】	1
消化器がん検診指導医 【日本消化器がん検診学会】	1	がん検診認定医【日本がん検診・診断学会】	1
消化器がん検診総合認定医 【日本消化器がん検診学会】	1	健康スポーツ医【日本医師会】	1
消化器がん検診認定医(肝胆膵) 【日本消化器がん検診学会】	1	公認スポーツドクター【日本スポーツ協会】	1
消化器がん検診認定医(胃) 【日本消化器がん検診学会】	1	日本抗加齢学会専門医【日本抗加齢学会】	1
胃腸科認定医【日本消化管学会】	2	周産期認定【日本産婦人科遺伝診療学会】	1
呼吸器指導医【日本呼吸器学会】	2	初級呼吸ケア指導士 【日本呼吸ケア・リハビリテーション学会】	1
呼吸器専門医【日本呼吸器学会】	2	JMECC インストラクター【日本内科学会】	1
インфекションコントロールクター(日本呼吸器学会推薦) 【ICD 制度協議会】	2	ICLS インストラクター【日本救急医学会】	1
結核・抗酸菌症認定医 【日本結核非結核性抗酸菌症学会】	1	CKD(慢性腎臓病)対策推進「病診連携医」 【熊本市】	2
肺がんCT検診認定医師 【肺がんCT検診認定機構】	1	肝臓病認定医 1 肺がん検診読影医師 3 肺がん一次総合判定医師 1 【熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会】	
放射線診断専門医【日本医学放射線学会】	1		
核医学専門医【日本核医学会】	1		



熊本健康管理センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

“Health for All, All for Health”
すべての人に健康を、健康に全力を

・医療職等（診療放射線技師 臨床検査技師 管理栄養士 保健師 看護師 事務）

資格・認定	人数	資格・認定	人数
胃がん検診専門技師 【日本消化器がん検診学会】	7	人間ドック健診情報管理指導士 【日本人間ドック学会】	3
胃X線検診読影補助認定技師 【日本消化器がん検診学会】	3	産業カウンセラー 【日本産業カウンセラー協会】	3
胃がんX線検診技術部門B資格検定 【日本消化器がん検診精度管理評価機構】	2	禁煙認定指導保健師・看護師 【日本禁煙学会】	6
胃がんX線検診読影部門B資格検定 【日本消化器がん検診精度管理評価機構】	4	消化器内視鏡技師 【日本消化器内視鏡学会】	3
肺がんCT検診認定技師 【肺がんCT検診認定機構】	4	糖尿病療養指導士 【日本糖尿病療養指導士認定機構】	4
検診マンモグラフィ撮影技術及び精度管理 認定技師【日本乳がん検診精度管理中央機構】	7	糖尿病教育ファシリテーター 【日本糖尿病協会】	2
第1種放射線取扱主任者【原子力規制委員会】	1	糖尿病予防指導者 【日本歯科衛生士会】	1
シニア放射線技師 【日本診療放射線技師会】	2	熊本県地域糖尿病療養指導士 【熊本地域糖尿病療養指導士認定委員会】	25
医療画像情報 精度管理士 【日本診療放射線技師会】	3	肝疾患コーディネーター【熊本県】	35
放射線管理士 【日本診療放射線技師会】	2	HAPPY プログラム使用権取得コース修了 【国立病院機構 肥前精神医療センター】	2
放射線機器管理士 【日本診療放射線技師会】	2	健康運動指導士 【健康・体力づくり事業財団】	6
医療情報技師【日本医療情報学会】	3	健康運動実践指導者 【健康・体力づくり事業財団】	2
細胞検査士【日本臨床細胞学会】	5	健康経営アドバイザー 【東京商工会議所】	2
国際細胞検査士【国際細胞学会】	1	健康経営エキスパートアドバイザー 【東京商工会議所】	2
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 技能講習修了【熊本県労働基準協会】	1	ジャパンハートクラブ認定トレーナー 【日本心臓リハビリテーション学会】	1
認定心電検査技師 【日本臨床衛生検査技師会】	1	フットケアセラピストコース修了 【JRFA 日本リラクゼーションフットケア協会】	4
血管診療技師 【3学会厚生血管診療技師認定機構・日本血管外科 学会・日本脈管学会・日本静脈学会】	2	診療報酬請求事務能力検定（医科） 【日本医療保険事務協会】	1
		診療情報管理士 【日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協 会・日本精神化病院協会・医療研修推進財団】	1
超音波検査士 消化器 【日本超音波医学会】	33	社会福祉士【厚生労働省】	2
超音波検査士 体表 【日本超音波医学会】	30	第一種衛生管理者 【厚生労働省】	11
超音波検査士 泌尿器 【日本超音波医学会】	22	特定健診・特定保健指導実践者研修修了	58
超音波検査士 健診 【日本超音波医学会】	2	【赤十字】 ・医療対話推進者養成研修修了 3 ・救急法指導員 7 ・水上安全法指導員 1 ・健康生活支援講習指導員 2 ・幼児安全法指導員 1	
超音波検査士 循環器 【日本超音波医学会】	5		



■ 施設認定 (令和5年4月現在)

認定年月	認定機関	認定内容
平成7年4月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	肺がん一次検診機関
平成7年4月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	胃がん精密検査機関
平成10年10月	一般社団法人日本消化器がん検診学会	認定指導施設
平成12年6月	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会	労働衛生サービス機能評価認定施設 「健康診断」「産業保健支援」
平成17年4月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	肝臓病認定医支援機関
平成17年10月	一般社団法人日本病院会 公益社団法人日本人間ドック学会	人間ドック・健診施設機能評価認定
平成22年5月	一般社団法人日本脳ドック学会	脳ドック施設
平成24年4月	公益社団法人日本産業衛生学会	日本産業衛生学会研修施設
平成25年4月	公益社団法人日本人間ドック学会 一般社団法人日本総合健診医学会	人間ドック健診専門医研修施設
平成25年6月	日本乳がん検診精度管理中央機構	マンモグラフィ検診施設画像認定
平成28年4月	公益社団法人日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価委員会	保健指導実施施設
令和4年9月	熊本県	熊本県 SDGs 登録事業者(第3期)



医療機器・検診車等

■ 医療機器等（施設内）（令和5年4月現在）

医療機器等	台数	医療機器等	台数
MRI診断装置	1	超音波診断装置	15
全身用コンピュータ断層 （ヘリカルCT）撮影装置	1	骨 X 線測定装置	1
乳房 X 線撮影装置（マンモグラフィ）	2	上部消化管ビデオスコープ （胃カメラ）	25
胃部 X 線撮影装置	6	下部消化管ビデオスコープ （大腸ファイバー）	16
胸部 X 線撮影装置	2	AED	7

■ 検診車等（令和5年4月現在）

検診車	台数
胃部X線検診車	3
胸部X線検診車	3
超音波検診車	8
マンモグラフィ検診車	1
子宮がん検診車	1
骨密度検診車	1
AED	5



事業実績

■ 事業実績（令和4年度）

	総 数	内 訳	
人間ドック	30,234 人	2 日ドック	3,709 人
		1 日ドック	26,525 人
健康診断	117,821 人	施設内	40,132 人
		施設外	77,689 人
健康支援	11,593 件	健康増進事業 (職員派遣 等)	444 件
		産業保健サポート	920 件
		特定保健指導	10,229 件
外来診療	5,674 人		
優友クラブ (個人会員制度)	会員数 1,570 人		

■ 人間ドック(オプション含む)（令和4年度）

検査項目	件 数	検査項目	件 数
頭部MRI+MRA 検査	2,568	マンモグラフィ検査	8,588
胸部CT検査	3,454	乳房超音波検査	8,934
上部消化管内視鏡検査	19,674	腹部超音波検査	30,229
上部消化管 X 線検査	8,099	頸動脈超音波検査	3,903
胸部 X 線検査	30,174	甲状腺超音波検査	4,308
子宮頸がん検査	7,846	大腸内視鏡検査	6,380

■ 健康診断(オプション、セレクト健診含む)（令和4年度）

検査項目	件 数		検査項目	件 数	
	施設内	施設外		施設内	施設外
頭部MRI+MRA 検査	87		マンモグラフィ検査	8,074	10,222
胸部CT検査	446		乳房超音波検査	7,160	12,716
胃部 X 線検査	12,801	8,159	腹部超音波検査	6,103	30,240
胸部 X 線検査	32,204	37,817	頸動脈超音波検査	140	484
子宮頸がん検査	8,156	8,894	甲状腺超音波検査	576	3,825



日赤熊本健康管理センターのこだわり

お客様の視点で満足度を追求

最新の医療機器や新しい検査項目を導入し、質の高い医療の提供を目指し実施しています。人間ドックは専門職が個人にあったコースやオプションのアドバイスをを行い、必要な項目・充実した内容になるようご相談に応じています。

また、多様化する社会に対応し、すべての皆様が安心かつ快適に受診していただけるよう常にお客様の視点で環境整備に取り組んでいます。

検査精度の追求と、疾病の早期発見を目指して

健診で重要なことは、徹底した精度管理と疾病の早期発見です。検査ごとに、毎年数カ所の外部精度管理調査へ参加し、県内トップクラスの評価を得るとともにその高い水準を維持できるよう尽力しています。

また、撮影した画像の判定には、撮影技術・読影技術の双方が非常に重要となるため、ガイドラインを遵守した撮影と二重読影を徹底し、必要な場合は、三次判定を実施します。技術向上・最新の情報収集のため、学会参加及び発表を積極的に行い、外部講師による勉強会や画像検討会も開催しています。上記取り組みに加え、複数の検査を組み合わせたオプション検査を設定するなど、精度向上を図り疾病の早期発見を目指しています。

団体契約はご相談内容に親身に対応

各団体の事情に配慮した健診計画を立てご要望にお応えしています。

健診だけでなく、事後フォローや保健指導計画も併せてご提案し、団体のトータルサポートを行っています。

健診データの豊富な蓄積

健診業務では、個人の過去5年間のデータを判定・面談に活用しています。

さらに、1987年(昭和62年)からの豊富な健診データの蓄積により、統計調査や疫学研究・学会発表で活用するなど、予防医療の発展に寄与しています。

フォロー体制の充実

人間ドックや健康診断後の継続的な健康づくりのため、外来部門では、必要な再検査が実施できるように再検査外来を設置しています。さらに、精密検査が必要な方には、速やかな受診につなげるため、受診当日に専門医療機関への予約調整を行っています。このような取り組み等を通して、専門医療機関及びかかりつけ医との医療連携体制の強化に努めるとともに、人間ドック等受診後のフォローを定期的に行っています。

また、特定保健指導、健康セミナーなどをはじめとした健康増進・生活習慣改善のための健康支援事業を、団体のご希望に応じて実施しています。

新たな期待に応える姿勢

これまでに培った経験や知識・データを活かし健康社会の実現に関する課題解決を目的として、大学や行政などと連携し研究事業を行っています。

また、県内の健診機関との連絡・協議を行い情報共有することで、必要とされる質の高い健診・健康支援に寄与することを目指しています。

ICT 技術の活用

ICT 技術を活用するため積極的に検討を行うとともに、各種事業に導入しています。それにより、受診環境の向上・基幹システムの機能強化・人為的ミスの防止等に取り組んでおり、今後も活用を推進してまいります。



日本赤十字社 組織概要 (令和5年4月現在)

- 本社 日本赤十字社
 - ・住所 〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3
 - ・設立 1877 年(明治 10 年) 博愛社設立
1887 年(明治 20 年) 日本赤十字社に改称
1952 年(昭和 27 年) 日本赤十字社法制定
 - ・名誉総裁・名誉副総裁
名誉総裁 皇后陛下
名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下
常陸宮殿下・同妃華子殿下
三笠宮妃百合子殿下
寛仁親王妃信子殿下
高円宮妃久子殿下
 - ・代表者 社長 清家 篤
 - ・日本赤十字社会計 (令和5年度当初予算)
一般会計 本社 147 億 8 千万円 支部 211 億 8 千万円
医療施設特別会計 1 兆 1,940 億 7 千万円
血液事業特別会計 1,630 億 2 千万円
社会福祉施設特別会計 159 億 4 千万円
 - ・施設・職員数 (令和5年4月1日現在)
420 施設 67,403 人 (医療事業 116 施設、職員数 59,091 人)
 - ・日本赤十字社の事業
1.国際活動 2.救護活動 3.医療事業 4.看護師等養成事業
5.血液事業 6.社会福祉事業 7.救急法等の講習
8.赤十字活動とボランティア
 - ・ホームページ
<https://www.jrc.or.jp/>
- 支部 日本赤十字社熊本県支部
 - ・支部長 蒲島郁夫
- 施設 熊本赤十字病院
熊本県赤十字血液センター
日本赤十字社熊本健康管理センター

